

愛情と誇り



徳川宗家十八代当主
徳川記念財団理事長

徳川 恒孝 氏

教育随想



平成17年3月1日

3月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
徳川宗家十八代当主 徳川記念財団理事長 徳川 恒孝氏	
この人に聞く	2
岡崎高等学校コーラス部顧問 近藤 恵子氏	
羅針盤	2
国語科指導員 磯村 彰久	
ふれあい	3
矢作南小 石田佳奈子	
1年のあゆみ	4
平成16年度研究発表校	6
平成16年度教育研究論文入賞者	7
お知らせ	8
フォト・ヒストリー	10
学習環境緑化推進 (昭和60年)	
この本を	10

弱い生き物である幼い子供にとつて、自分が深い愛情に包まれて、常に安全であると感じられることが大変に大事なことです。子供たちは本能的にそれを知り、それがあって初めて伸び伸びと知識を吸収していきます。

幕末から明治初期にかけて、大勢の外国人が神祕の国日本に来て、色々な記録を残しました。

当時の日本の子供たちは、幼い時は一日中、母親の背中を過ごしますが、少し成長すると、兄や姉の背に背負われて、一緒になって年上の子供たちの遊びに加わりました。寺子屋に行くころになると、今度は弟や妹をおぶって面倒をみながら一日中、日の暮れるまで外で遊びました。

外国人はそれを見て、幼い時から厳しく鞭と叱責で躰ける西洋の育児より、日本の子育ての方がはるかに

優れているのではないかと感じたようです。

「日本の親は子供を溺愛する。しかし、子供が外で他の子供たちと遊べるようになると、親は一切干渉しない。子供たちは子供たちの中で規律や社会の善悪を学び、ある日突然大人びた若者になって巣立っていく」というのが外国人たちの共通な認識でした。そのころ、日本の子供たちが、小僧さんやお手伝いとして実社会に出て行ったのは、だいたい十二、三歳です。

たいていの子供たちには得意技があります。勉強や駆けっこだけではなく、豚のまねがうまかったり、息を長く止められたり、階段を三段跳び降りたりなど、いろんなことがあります。子供同士では、「凄いいね」と褒め、褒められた子供は体中が誇りで一杯になります。誇りと

いふのは大切なものです。

随分牧歌的なことを書きました。刺激の強い現実社会の中での教育が如何に難しいかはよくわかります。しかし、「褒める」「過剰干渉はしない」「誇りを持たせる」「ルール違反は厳しく叱る」は大原則だと思います。

(とくがわ つねなり)



この人に聞く

ふるさとシリーズ



心のハーモニー

岡崎高等学校コーラス部顧問

近藤 恵子 氏

熱意あふれる指導で、同校コーラス部を全国トップレベルの合唱団に導いている近藤先生。音楽的に恵まれた環境で育ち、ピアノ演奏に自信を持っていた少女時代。しかし、高校時代に自分の未熟さを痛感し、音楽から離れた時期があったそうだ。

「ピアノが埃だらけになるくらいでした。でも、だんだんたまらなくなってきたんです。この悶々とする気持ちは何だろうって。それが音楽だと分かるのに一年もかかりました。」
再度師事した先生の勧めで、大学

では音楽を学ばれた。その後、新任音楽教師として同校に赴任。顧問二年目にして、NHKコンクール東海北陸大会で三位に入賞された。それ以後、常に全国大会上位入賞を果たし、日本代表として参加した合唱オリンピックでは、二度の金メダルを獲得している。

お訪ねしたのは同校音楽室。曲にのめり込み、表情豊かに歌う部員たちの姿にまず驚かされた。

「心からの声というのはどこから出るかを考えさせ、突き詰めさせます。そうすると、恥ずかしいという次元は超えていきます。思春期にしか歌えない何ともいえない熱いものを引き出したいですね。」

限られた練習時間でトップレベルの合唱に引き上げる秘訣も伺った。「集中力を持続させることに尽きますね。歌を通してより良く生きる



ことを考えさせながら、一つ一つの言葉をどういう気持ちで響きで歌ったらその感じを表現できるかと、生徒たちの知性や情感に訴え、喚起します。それで、他の学校にはない何か導き出されると思うんですね。」
また、合唱の魅力は、ハーモニーに打ち震えることであり、生徒たちにもそれを肌で感じさせていくのだという。

「それぞれが正しい音を出すだけではなく、周りの声を受け入れ、聞かえてくる音に自分の声を重ねていく。どの子も排除せず、できるまでやらせます。音だけではなく、心のハーモニーとはそういうことなんです。」
さらに、コンクールに向けての熱い思いをこう語られた。

「コンクールは、他の学校の素晴らしい演奏が聴け、生徒と共に流した汗の素晴らしさを実感できる場です。そこで最高の演奏をしたいですね。」
数々の合唱団の指導の他、ご自身も演奏家として幅広く活躍されている。歌う喜びを多くの人に伝え、広げていこうという先生の情熱と人柄に惹かれ、音楽の魅力に引き込まれていく者も多いことだろう。

氏名 こんどう さとこ
生年月日 昭和二十年十月四日
住所 豊川市国府町向河原四八



子供が輝く話し合いの授業

国語科指導員 磯村 彰久

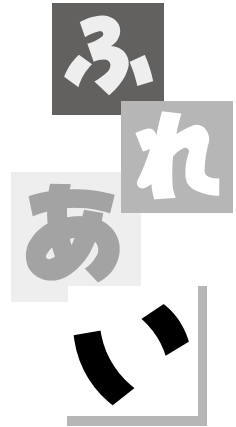
「昨日まで、しんし(紳士)の性格は変わっていると思っていただけ、今日みんなの話を聞いていたら、変わっていないと思うようになりました。」

これは、授業の最後に書かれた感想ではない。五年「注目の多い料理店」の主題の話し合いをしている真ん中での発言だ。友達の発言に心を動かされたA子が、言わずにはいられない気持ちになり、わざわざ挙手をして発した言葉だ。

こんな発言が自然に出てくる授業が行えた理由は何だろう。
一つ目は、学級作りがよいからだ。「はいっ。」

どの子の返事も、窓の外の山に響くくらい元気だ。そして話を聞くとときには、相手の顔をじっと食い入るように見つめていた。

二つ目は、一人読みの支援がしつ



仲間とつかんだ勝利

矢作南小 石田佳奈子

「先生、やっぱりずるい。Aちゃんもコンクールに出るなんて。」

他の子供たちも、硬い表情でうなずく。わたしは何も言えずに黙った。

四年生のときからほとんど学校に来ていなかったA子が、六年生となった六月のある日、突然合唱部の練習に現れた。

「Aちゃん、久しぶり。」

少し疲れたような顔で下を向くA子。一年半ぶりに見る彼女の顔は、家からほとんど出ていないせいかわだというのに真つ白だった。コンクールの楽譜をちゃんと持っている。

「せっかくだから、歌おうか。」

話しかけると、黙ってうなずき、合唱隊の中に入っていた。

それからのA子は、部活の時間になると学校へ来て歌うようになった。少しずつ、以前のような明るい表情

も見られるようになり、この分ならコンクールに出られると思うほどの上達ぶりだった。

ところが、コンクール地区大会二週間前になって、突然欠席が始まった。二日前になって、A子の家に行ってみた。両親とも仕事でおらず、何度呼び鈴を押しても出てこない。たまたまドアの外から呼び掛けた。

「Aちゃん、明後日だよ。最後のコンクールだよ。一緒に出よう。」

結局、何も会話ができなかった。

次の日、母親に引つ張られるようにしてA子がやってきた。何も言えず、ただ涙を流すばかりのA子。

「コンクールには出たいようなんですが……。」

母親の話を聞いて、同級生の合唱部員を集め、A子をコンクールに出すことについてどう思うか尋ねた。四年生では地区大会敗退、五年生では全国大会目前で破れ、六年生になり「今年こそは」と厳しい練習に耐えてきた子供たち。少ししか練習に出ていないA子がコンクールに参加できることを「ずるい」と感じてしまふ気持ちもよくわかる。しかし、A子が今、唯一学校とつながってられるのは合唱部である。

決心して、わたしはA子に言った。

「コンクール直前まで休んでいた今の状態では、明日の地区大会参加はやっぱり厳しいと思う。でも、もしも地区大会を突破して県大会に進めたら、その時は絶対にAちゃんを出してあげる。だから今は休んで、また練習において。Aちゃんのためにも絶対勝ってくるよ。」



大会当日、A子は客席で発表を聞いていた。審査発表のときはわたしの隣に座り、手を握って結果を待った。

「金賞、矢作南小学校」

歓声が上ががり、子供たちは喜んだ。

「やったよ、Aちゃん。一緒に県大会出ようね。」

友達の声に笑顔でうなずくA子。県大会のステージでは、目と口を大きく開けて生き生きと歌うA子の姿があった。結果は金賞。これこそ、

A子が仲間とつかんだ勝利だった。

かりされているからだ。言葉にこだわって自分の考えを書かせ、朱書きと言葉掛けによって、さらにその意見を確かなものにさせていた。

三つ目は、教師の出が「核」になる発言を見逃さず、的確だったからだ。話し合いが沈滞し始めたとき、B男が突然こう発言した。

「しんしの顔が戻らなかつたのは、動物の恨みだと思う。」

それを聞いた教師は、板書の後、子供たちを見回して言葉を返した。

「この意見、どう思う。」

すかさず、D男が挙手をして言った。

「これいい。犬が死んだとき、損害だと言った。自分がやるうとしたことを動物にやられたんだ。」

そこから、再び子供たちの発言が大きく動き始め、深まっていった。

「しんしに何て言いたいですか。」

教師の最後の発問に対して、「お金のことより、命のことを考えて」など、話し合いを通して学んだことが発言されていた。次の日の授業では、さらに、「しんしは食べられた方が幸せだったか」について激論が続いていったようだ。

教師は、常によりよい話し合いの授業をしたいと悩む。その答えが、この授業の中にあつた。

一年の あゆみ



▶龍美丘小が第三位となった全日本小学生バレーボール大会



▶南中がベスト8まで駒を進めた全日本少年軟式野球大会

4・17	新規採用教員44名辞令伝達式
4・17	管楽器重奏コンテスト東海大会
4・19	現職教育委員会総会(六北中)
5・9	耐震工事 三島小 広幡小 奥殿小 大樹寺小 緑丘小 美合小 岩津小 葵中 第7回中日本アーチェリー大会
5・13	男子三〇〇M・三〇M部門 優勝 東海中3・日高勝博 女子三〇〇M・三〇M部門 優勝 東海中3・高木早紀
5・14	女子一八M・一八M部門 優勝 東海中2・山田萌恵
5・15	呼布特市教育交流考察団来岡(16) 松下教育財団主催教育助成 竜南中
5・16	第34回全国野鳥保護のつどい 野生生物保護功労校 環境大臣賞 生平小
6・26	第11回愛知県中学校カヌー大会 男女総合優勝 新香山中 女子総合優勝 新香山中
6・27	第18回わんぱく相撲愛知県選手権相撲大会 四年の部 優勝 根石小4・加古若菜
7・3	第21回NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会
7・4	テレビ番組部門 最優秀賞 東海中 第24回全日本バレーボール小学生愛知県大会
7・17	男子優勝 龍美丘小、女子優勝 上地小クラブ 第57回岡崎市中学校市長杯総合体育大会(19)
7・22	岡崎中学校球技大会(26)
7・24	西三河中学校選手権大会(26)
7・25	東海ブロック小学生バレーボール大会 優勝 龍美丘小
7・29	第42回岡崎中学校水泳大会(井田小・三島小) 第58回愛知県中学校総合体育大会(8/3) 水泳の部 男子総合優勝 矢北中 男子一〇〇M背泳ぎ優勝 矢北中3・中嶋一見 男子四〇〇Mメドレー 優勝 矢北中・中嶋、山本 中沢、角谷 男子二〇〇M個人メドレー優勝 岩津中3・筒井和也 男子一五〇〇M自由形 優勝 矢北中3・田端竜之介 女子四〇〇Mリレー 優勝 矢北中・中嶋、中沢、角谷、田端 女子二〇〇M自由形 優勝 城北中3・岩下なつみ 女子一〇〇Mバタフライ 優勝 城北中3・山下なつみ
	新体操の部 リボン・縄・総合の部優勝 城北中3・岡本果穂 陸上の部 男子三〇〇M 優勝 東海中3・藤井延幸 男子二一年一〇〇M 優勝 矢作中2・鈴木康仁 男子低学年四〇〇Mリレー 優勝 北中・渡辺、榊原、加藤 中村 男子八〇〇M 優勝 六ツ美中3・近藤由紀人 男子走幅跳 優勝 甲山中3・西 航司 女子二一年一〇〇M 優勝 東海中2・新美綾乃 女子一五〇〇M 優勝 六ツ美中3・武田知江美 女子砲丸投げ 優勝 六ツ美中2・高橋裕美 バレーボールの部 男子 矢作中 女子 新香山中3・水越純介
8・1	全国中学校カヌー大会 C-1優勝 新香山中3
8・2	第24回全国中学生アーチェリー大会
	女子三〇〇M・三〇M部門 優勝 東海中3・緒方ほか 女子三〇〇M・一八M部門 優勝 東海中2・山田萌恵 女子一八M・一八M部門 三位 東海中3・丹羽裕美 女子一八M・一八M部門 二位 東海中2・附柴文子 男子五〇〇M・三〇M部門 三位 東海中3・坂野太一 男子三〇〇M・三〇M部門 二位 東海中3・鶴岡伸雄 男子一八M・一八M部門 三位 東海中2・不破隆浩
8・3	岡崎市教科・領域基礎研修会(4)
8・5	第47回中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会 最優秀賞 竜海中 呼布特市使節団来岡(9)
8・8	愛知県吹奏楽コンクール 金賞 竜海中、矢作中 第26回東海中学校総合体育大会 陸上の部 女子共通一五〇〇M 優勝 六ツ美中3・武田知江美 男子共通三〇〇M 二位 東海中3・藤井延幸 男子一〇〇M個人メドレー優勝 岩津中3・筒井和也 男子一〇〇M背泳ぎ 優勝 矢北中3・中嶋一見 男子四〇〇Mリレー 優勝 矢北中・角谷、中沢、中嶋、田端 男子四〇〇Mメドレー優勝 矢北中3・山本、中沢、中嶋、角谷 女子二〇〇Mバタフライ優勝 城北中3・岩下なつみ
8・10	全日本バレーボール小学生大会 三位 龍美丘小
8・19	第32回生徒市議会(市議会議場)
8・23	第44回全国中学校水泳競技大会
	相撲の部 個人の部 男子四〇〇Mリレー 三位 矢北中・角谷、中沢、中嶋、田端 男子一〇〇M自由形 八位 龍海中3・柳雄人 男子二〇〇M個人メドレー八位 岩津中3・筒井和也 第31回全国中学校陸上選手権大会 三〇〇M 七位 東海中3・藤井延幸 男子走り幅跳び 四位 甲山中3・西航司
8・24	岡崎市統計グラフコンクール表彰式(福祉会館) 地下道清掃 国土交通省大臣賞 山中小
8・26	第19回中学生的主張コンクール(勤労文化センター)
8・27	岡崎市教職員体育大会(中央総合公園)
8・28	第59回東海吹奏楽コンクール 金賞 竜海中
8・30	第46回岡崎市中学生英語スピーチフェスティバル(せきらいホール)
8・31	第24回ボランティア活動表彰 県知事賞 恵田小 愛知県ユース(U-15)サッカー選手権大会 優勝 竜南中 NHK全国学校音楽コンクール 東海北陸ブロックコンクール 銅賞 矢南小 岡崎市中学校呼布特市親善訪問(9/14)
9・4	平成十六年度学校関係緑化コンクール 学校林等活動の部 県知事賞特選 奏梨小
9・6	愛知万博フレンドシップ国サンピア特命全権大使来校 龍美丘小、竜海中
9・9	ちゅうでん教育振興助成 六西小
9・10	第25回ジュニアオリンピック陸上競技大会 愛知県大会
9・11	男子C一〇〇M 優勝 東海中3・新美綾乃 男子B走り高跳び 優勝 六北中3・利國翔 男子C一〇〇M 優勝 矢作中2・鈴木康仁
9・13	男子C走り幅跳び 優勝 岩津中2・鈴木雄貴
9・16	教育研究大会(井田小・葵中)
9・17	大幸財団教育実践助成金 大門小
9・25	第43回岡崎中学校陸上競技大会(県宮岡崎総合運動場)
9・27	岡崎中学校生ニューポートビーチ市親善訪問(10/6)
9・29	岡崎中学校生ウッペバラ市親善訪問(10/8)
10・2	第37回岡崎中学校新人総合体育大会(9・水泳9/4)
10・9	第56回高岡宮杯全日本中学校英語弁論大会 最優秀賞 城北中3・水野智美
10・10	第51回小中学校理科作品展(中央総合公園武道場) 第31回小中学校技術・家庭科作品展(中央総合公園武道場)

完成した梅園小の新校舎



六ツ美中女子が三年連続出場を果たした全国中学校駅伝大会



二十五周年にウツデバラ市を訪問した市中中学生使節団



11・28	11・27	11・26	11・23	11・20	11・10	11・7	11・6	11・3	10・31	10・30	10・27	10・24	10・23	10・18	10・17	10・13																																			
愛知県FBC秋花壇 優良賞 六中小	第6回朝日びのび教育賞 最優秀賞 常磐中	第35回博報賞(教育活性化部門)受賞 六西小	第41回全国花いっぱいコンクール 優秀賞 六中小	第58回発明とくふう展 発明協会会長奨励賞 六名小4・梅田雄也	第32回岡崎のハーモニー(市民会館)	第10回東海ユース(U-15)フットサル大会 優勝 福岡中	愛知県中学生バレーボール新人大会 男子の部 優勝 竜海中	第53回愛知県中学校駅伝大会 女子の部 優勝 六ツ美中	第32回教育文化賞授賞式(せきさいホール)	学校給食文部科学大臣賞 新香山中	第42回スーパーファイティング空手道全国大会 優勝 竜海中1・福安紋弥	第10回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学校の部B部門 優秀賞 矢作中	創立30年記念式典 緑丘小	第28回愛知県中学生新人バドミントン大会 女子単 優勝 城北中2・西村美穂	第10回愛知県中学生新人バドミントン大会 中学校の部B部門 優秀賞 矢作中	第18回愛知県小学生陸上大会	5年女子ボール投げ 優勝 男川小5・畔柳わかな	5年男子走り幅跳び 優勝 矢東小5・能塚友太	第9回CBCこども音楽コンクール中部日本決勝大会	小学校合唱の部 最優秀賞 矢南小・優秀賞 三島小・大樹寺小・矢東小	小学校管楽合奏の部 最優秀賞 竜美丘小	中学校管楽合奏の部 優秀賞 岩津中	中学校合唱の部 最優秀賞 六北中・優秀賞 矢北中	中学校合唱の部 優秀賞 六北中	小学校管楽合奏の部 最優秀賞 竜美丘小	小学校合唱の部 最優秀賞 三島小・大樹寺小・矢東小	男子C走り幅跳び 三位 岩津中2・鈴木雄貴	男子B三〇〇M 八位 東海中3・藤井延幸	男子C走り幅跳び 三位 岩津中2・鈴木雄貴	第8回東海小学生バンドフェスティバル グッドサウンド賞 竜美丘小	第35回ジュニアオリンピック陸上競技大会	第41回造形おどろきまつり展(31) おどろき世界子ども美術博物館広場	第31回岡崎市作文コンクール表彰式(福祉会館)	第11回岡崎中学校カヌー大会新人戦 女子総合優勝 新香山中	全国吹奏楽コンクール 銀賞 竜海中	走り幅跳び 九位 甲山中3・西航司	第59回国民体育大会「彩の国まごころ国体」(埼玉県)	海外教員派遣ドイツ教育視察(10/27)	校舎完工式 梅園小	第52回全国統計グラフコンクール	入選 小豆坂小3・岡本衣美	竜海中2・植田美咲・竜海中3・見並克俊	北中・細井・中嶋・北中・嶺田・尾崎・山口	北中2・春名紗季江・新香山中3・前川浩隆	甲山中3・島居千穂・北中・神野・金内・柴田	愛知県中学生ロボットコンテスト	「より高く、より多く」部門 優勝 葵中3・遠藤寛士	第51回岡崎市民体育祭(中央総合公園)	第2回愛知県中学生アーチェリー大会	女子三〇M部門 優勝 東海中2・山田萌恵	女子一八M部門 優勝 東海中1・河合祐果

こども音楽コンクール全国大会にて文部科学大臣奨励賞を受賞した城北中オーケストラ部



全日本吹奏楽コンクール(中学校部門)に岡崎市で初の出場を果たした竜海中吹奏楽部



2・27	2・26	2・19	2・18	2・16	2・1	2・1	1・21	1・19	1・16	1・9	12・23	12・21	12・18	12・12	12・4	12・1							
文部科学大臣奨励賞 重唱部門 六北中、合奏第一部門 城北中	第48回全国学芸科コンクール 読書科学感想文部門 努力賞 矢東小1・江本望	読書郵便コンテスト 愛知県知事賞 連尺小1・山口佳那子	読書郵便コンテスト 愛知県知事賞 連尺小1・山口佳那子	学校保健大会(公衆衛生センター)	愛知県学校安全優良校表彰 六西小	日本青少年ペンフレンドクラブ協会会長賞 連尺小1・木村紫帆	総務大臣特別賞 連尺小1・山下凱斗、甲山中2・吉田慎吾	日本郵政公社総裁賞 連尺小1・木下凱斗、甲山中2・吉田慎吾	第37回手紙作文コンクール	第48回小中学校書き初め展(23・岡崎市美術館)	第56回岡崎市民駅伝競走大会	第31回冬季研修会(24・せきさいホール)	こども科学映像祭 文部科学大臣賞 東海中報道部	ソニー子ども科学教育プログラム	入選校 上地小・奨励校 六西小・努力校 常南小・東海中	第23回海と魚のコンクール 研究の部 農林水産大臣賞 連尺小5・鈴木亮	叙勲・表彰者合同祝賀会(竜美丘会館)	愛知県駅伝カーニバル 優勝 東海中男子A、六ツ美中女子A	最優秀賞(全国奨励賞) 常磐中2・大河原宗月	第24回全国中学校入権作文コンテスト	第22回全国小学生作品コンクール	バスコン部門 子どもの文化・教育研究所理事長賞 竜海中3・酒井博越	秋・学校花壇設計図コンクール 県知事賞 根石小6・藤田麻莉子

平成16年度研究発表校

月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料
6月11日	竜海中	全教科・特殊教育	自ら学ぶ力を高める生徒の育成 —教科学習を中心に—	生徒一人一人の「学ぶ力」を育成しようと、昭和38年以来「わかる学習指導」の継続研究を進めてきている。昨年度から始めた第8次研究では、生徒が自ら学ぶ力を身につけることを研究の主眼としている。今年度の2年次研究では、昨年度の課題を踏まえて、生徒のより自主的な学習活動を図るために、生徒の意識や思いを生かした授業構想を大切に実践を行った。	研究物 研究紀要 学習指導案集 自由研究のまとめ 講師 各教科・領域指導員の先生方
6月22日	北野小	国語・算数・選択	学ぶ喜びを感じる子供の育成	学習の基礎基本をしっかりと身に付けるために「モジュール制学習」「コース別学習」「自己学習」に焦点をあてて研究を推進した。国語の言語事項を15分間集中して学ぶモジュール制学習。算数を習熟度別の少人数で学ぶコース別学習。個々の子供が各教科の中から自ら課題を決めて学ぶ自己学習。学ぶ喜びを味わわせ「わかる・できる」ことを大切に取組んだ。	研究物 研究紀要 学習指導案集 講師 愛知教育大学教授 佐藤 洋一 先生
6月29日	六ツ美西部小	国語（公開授業）	かかわりあい、伝え合う授業づくり （平成15・16年度 文部科学省 国語力向上モデル地域事業）	「伝え合う力」を育成するために「話すこと・聞くこと」の指導と評価の工夫に力点を置いた。全学年年間指導計画を作成し、評価規準を明らかにし評価の度合いを考えた。相手・目的・場面意識を明確にした学習や、個の学びを保障する少人数授業（T・T）や、総合的な学習の時間とリンクした学習などを主な手立てとして、実践研究に取り組んだ。	研究物 研究要項 学習指導案集 講師 西三河教育事務所指導課指導主事 水野 達彦 先生 前六ツ美中部小学校長 鶴田紀美子 先生 緑丘小学校教務主任 高橋由美子 先生
9月28日	広幡小	国・社・算・理・生活	学ぶ喜びが育つ授業 —子どもの主体的な学びを促す教師支援—	深い子ども理解にたつた上で、子どもの興味関心や付けさせたい力を的確にとらえた単元設定や、学習を持続させる単元構成、目標に迫るための具体的な手立てなど、それぞれの場面で子どもに応じた適切な教師支援を行えば、子どもが自分自身で考えたり工夫したりして追究・表現活動に取り組むことができ、学ぶ喜びを育てることができると考え、実践研究に取り組んだ。	研究物 研究紀要 学習指導案集 講師 愛知教育大学生活科教育講座助手 久野 弘幸 先生 御津町立御津南部小学校長 田中 實 先生 額田町立夏山小学校長 三浦 浩子 先生 足助町立御蔵小学校長 松井 義朗 先生 岡崎市特殊教育指導員 武田 正道 先生
10月15日	岩津中	全教科・総合的な学習	生き生きと学ぶ生徒の育成 —「見つける力」を磨き、学びを強める授業実践—	学力を「学ぼうとする力」「学ぶ力」「学んだ力」の三つの視点からとらえ、学力の向上を目指した。手立てとして「教科を超えた指導方法」と「学年を超えた指導体制」を確立し、取り組んだ。指導方法の中では「見つける活動」を重視し、能動的に物事を見る目を養った。教員は「授業診断表」を用いて授業力の向上を図り、生徒の学力育成に努めた。	研究物 研究紀要 学習指導案集 講師 前豊田市立小清水小学校長 前田 勝洋 先生 （愛知教育大学非常勤講師）
10月29日	河合中	国・数・理・英・体育	確かな学力を育む河合教育 —発信力を高める学習指導の工夫を通して—	確かな学力の育成に向け、確かな学力の表れとしての「発信力」に着目した。本校の考える「発信力」は、コミュニケーション能力、発表力、問題解決力などを含みこんだものである。「『教えたいこと』を『学びたいこと』へ転化」「学びを支える支援の充実」「コミュニケーションタイムの位置付けと支援」を研究の手立てとして、実践・研究に取り組んだ。	研究物 研究紀要 学習指導案集 講師 愛知教育大学名誉教授 後田 忠勝 先生 愛知教育大学教授 佐藤 洋一 先生 愛知教育大学助教授 飯島 康之 先生 愛知教育大学非常勤講師 伊藤 安彦 先生 岡崎市立城北中学校長 河村 喜美 先生
11月12日	竜美丘小	国語・算数	基礎学力を伸ばす学習指導 —国語・算数の授業改善を通して—	国語・算数の授業改善を通して、基礎学力を身に付け、「できる喜び」「わかる楽しさ」を味わいながら進んで課題解決に取り組む子を目指した。国語では、「到達目標の設定」「4段階の学習過程とシートの活用」、算数では「評価問題の設定」「ミニ指導案」「竜美丘式〇つけ法」などを主な手立てとし、朝の帯学習である「竜小タイム」とともに授業実践を進めた。	研究物 研究紀要 学習指導資料集 講師 愛知教育大学教授 志水 廣 先生 愛知教育大学教授 佐藤 洋一 先生
11月16日	福岡中	総合的な学習の時間	目を輝かせ、自ら進んで活動する生徒の育成 —生徒指導を基盤とした“あじさいタイム”による「生き方」の探求—	平成13年度より総合的な学習の時間「あじさいタイム」を核にして、これまで進めてきた生徒指導の研究を基盤に、地域とのかかわりを大切にしながら、自主性・自立性を軸に生徒の生き方を学ぶ活動を目指してきた。総合的な学習の時間の授業構想において、3年間の系統的な活動計画や評価規準を設定し、教師支援のあり方を明らかにしようと実践研究に取り組んだ。	研究物 研究紀要 学習指導案集 実践資料集 講師 鳴門教育大学教授 西村 公孝 先生 安城市立明祥中学校教頭 柴田 富子 先生 岡崎市生活総合指導員 金指由香里 先生

平成16年度教育研究論文入賞者

●個人研究の部

最優秀賞

Table with 4 columns: 氏名, 学校名, 教科領域, 研究主題. Rows include 浅野 博志 (山 中 総合) and 山元 嘉与 (矢作北 理科).

優秀賞

Table with 4 columns: 氏名, 学校名, 教科領域, 研究主題. Lists numerous award winners across various subjects like 国語, 算数, 社会, 生活, 体育, 音楽, etc.

<論文入賞者数>

Summary table of award counts. Columns: 賞 (個人, 共同), 最優秀, 優秀, 佳作, 合計/応募数. Rows: 小学校, 中学校, 合計.

佳作

Table with 4 columns: 氏名, 学校名, 教科領域, 研究主題. Lists佳作 winners across various subjects like 国語, 算数, 社会, 生活, 体育, 音楽, etc.

●共同研究の部

最優秀賞

Table with 4 columns: 氏名, 学校名, 教科領域, 研究主題. Rows include 現職教育部 金指由香里 (上 地 教育全般) and 英語部 岩城 冬子 (河 合 英語).

優秀賞

Table with 4 columns: 氏名, 学校名, 教科領域, 研究主題. Lists優秀賞 winners across various subjects like 国語, 算数, 社会, 生活, 音楽, etc.

佳作

Table with 4 columns: 氏名, 学校名, 教科領域, 研究主題. Lists佳作 winners across various subjects like 算数, 生活, 音楽, 道徳, 学校保健, etc.



● 教育最新情報

○感性を育む心の教育

岡崎市では、芸術・文化活動の優れた作品等の鑑賞や体験活動を通して、資質と感性を育み、未来を担う子供たちの健やかな成長を願うため、感性を育む事業として「芸術鑑賞会」を実施している。



▲平成15年度上演「オズの魔法使い」

■事業の経緯

芸術鑑賞会は平成十三年度より事業を開始し、今年で四



年目になる。初年度はオストラヴァ少年少女合唱団（チェコスロバキア）を招き、以後

劇団かかし座（ジャングルブック）、劇団ポプラ座（オズの魔法使い）を経て、今年度は劇団東少を招きシンデレラを上演した。

■事業の内容

毎年、八月の上旬に実施し、小学校低学年を対象にした内容を岡崎市民会館で上演している。公演は、午前と午後二回公演で実施しており、親子で参加できる方を無料で招待している。ただし、座席数に限りがあるので、学校ごとに数を割り振っている。

■上演の内容

だれにでも楽しめ、心豊かになれる作品を選ぶよう心がけている。本年度の「シンデレラ」は、生みの親に死に別

れ、継母や姉妹の差別やじめにも負けず、明るく力強く生きるシンデレラに共感を持っている作品であると考える選んだ。



▲平成16年度上演「シンデレラ」

終了後、多くの方から「いまままでミュージカルがこんなにおもしろいとは思わなかった。—小3女子」「親子で楽しいひと時を過ごすことができた。—小2女子の保護者」などの意見をいただいた。また、ある保護者からは、「はじめをする側の醜さ、される側の悲しさと辛さが、シンデレラとシンデレラの家族を通して感じられた作品であった」という意見もいただいた。今後も、子供たちに夢や願いを与えられる作品を、上演していきたい。

● 派遣研修員研究報告

○子供の「ふるさと」を育む

図画工作科の授業の構想

奥殿小 坪井恵里子

派遣研修を受けさせていただけ機会を得て、以下に述べる視点から研修を積み、研究に取り組んだ。

- ① 図画工作科と総合的な学習の時間の関連付けの考え
- ② 地域素材「竹」を生かした表現活動からふるさとタイム（総合的な学習の時間）

に広がる授業構想と支援・評価のあり方

研修の中で①について、教科と総合的な学習の時間と関連的な指導を工夫することが、断片的な指導で終わることなく、資質・能力の向上に役立つことを学ぶことができた。

そして、その学びを生かし、②の図画工作科を入り口とし、学区の歴史的・文化的行事や環境と関連させたふるさとタイムへ展開する大単元構想による授業に取り組んだ。それぞれの追究段階では、地域の講師に学ぶ機会を持ち、支援

や評価の重点を移動し、相互がかわり合いながら展開した。

子供たちは、自己表現を伸び伸びと行った。図工で身に付けた表現力や発想力、技能による確かな自信が、互いの理解を深めながら地域へ発信する子供たちの活動を支えていることを感じた。そして、自己と異なるものの見方や感じ方、価値観を認め合う姿も見られた。

今回の研修では、愛知教育大学美術教室の藤江充教授に、十回にわたる研修すべてに誠意あるご指導をいただいた。

特に、今後の研究の課題や方向性を数多く示唆いただき、本研修の価値を実感することができ、有意義な研修となった。



▲授業実践4「バンブーパビリオンで遊ぼう」

●表 彰

◆こども音楽コンクール全国大会

●中学校重唱部門
文部科学大臣奨励賞

六ツ美北中学校

●中学校合奏第一部門
文部科学大臣奨励賞

城北中学校

◆第三十七回手紙作文コンクール

●手紙作文部門

日本郵政公社 総裁賞

甲山中二年 吉田 慎吾

日本青少年ペンフレンドクラブ協会長賞

連尺小一年 木村 紫帆

●はがき作文部門

日本郵政公社 総裁賞

連尺小一年 木下 凱斗

総務大臣特別賞

連尺小一年 山田華奈子

◆愛知県アンサンブルコンテスト

県教育委員会賞（最優秀賞）

竜美丘小学校

（クラリネット八重奏）

金賞

矢作中学校（木管五重奏）

矢作中学校

（サクソフォン七重奏）

銀賞

竜海中学校

（クラリネット八重奏）

竜海中学校（金管八重奏）

岩津中学校

（クラリネット八重奏）

岩津中学校（金管八重奏）

◆第三十二回人権を理解する作品コンクール県審査

ポスターの部 入選

大樹寺小 六年 石川 舜

細川小 三年 永田 萌

城北中 一年 富田 綾子

◆第四十回岡崎市読書感想文・感想画コンクール

市長賞（読書感想文）

本宿小 三年 本多奏一朗

矢作中 二年 鈴木 愛里

市議会議長賞（読書感想文）

交善祭 一年 水野 瑛介

常磐小 六年 辻 充洋

河合中 三年 白井 静香

岡崎南ライオンズクラブ会長賞（読書感想画）

小豆坂小 三年 里岡奈津希

六名小 四年 大下 拓磨

甲山中 三年 鳥居 千穂

◆第五十六回岡崎市民駅伝競走大会

●男子の部（三〇・一km）

優勝 東海中学校 A

二位 北中学校 A

三位 竜海中学校 A

四位 六ツ美中学校 A

五位 矢作中学校 A

六位 葵中学校 A

●女子の部（一一・七km）

優勝 六ツ美中学校 A

二位 竜南中学校 A

三位 南中学校 A

四位 北中学校 A

五位 矢作中学校 A

六位 六ツ美中学校 B

◆第二回ふるさと岡崎メデイアコンクール

●生涯学習部門

優秀賞 「新北中教育への挑戦」

北中 森 竜師

●学校教育教材部門

最優秀賞 「いろはがるた」を作ろう

葵中 名倉由香里

優秀賞 「計算の友」

藤川小 竹内 昭博

「まっすく泳ぐための練習法」

城北中 今井 丈晴

●児童作品部門

最優秀賞 「六ツ美学区で見られる植物」

六ツ美中 パソコン部

優秀賞 「新人生のための学区紹介」

東海中 報道部・生徒会

◆学校安全優良学校

県表彰 六ツ美西部小学校



▲ 市民駅伝開会式宣誓（代表：美川中学校生徒）



▲ 第56回岡崎市民駅伝競走大会

●平成十六年度の出版物

書名	出版日	著者
岡崎市評価規準例集	平成16年3月	岡崎市教育課程研究委員会
読書の森	平成17年3月	根石小学校
郷土読本「ふるさとやまなか」	平成16年3月	山中小学校
恵田小学校130年史	平成17年2月	恵田小学校創立130周年ならびに校舎増改築実行委員会
この子のために2	平成17年3月	恵田小学校長 岡田 豊
視聴覚ライブラリー50周年記念誌	平成17年2月	岡崎市学習情報部
地域と共に学び合う学校づくり ーボトムアップ型の地域運営学校を目指してー	平成17年3月（明治図書）	六ツ美西部小学校 （監修 愛知教育大学 野田敦敬）
悲願 全面改築	平成17年3月	常磐中学校長 金澤 強
中学校 数学科基礎・基本定着シート&発展・補充ミニ教材集（1年～3年）	平成16年度（明治図書）	岡崎市算数・数学教育研究部
確かな学力を育てる算数科 学習指導略案集（低学年）	平成17年3月（明治図書）	岡崎市算数・数学教育研究部（編者 江村 力）

・カ
ツ
ト
岡崎小 原田雅文

学習環境緑化推進 (昭和60年)

写真提供：大門小学校

フォトヒストリー 岡崎の教育

大門小学校には、正門を入ると右手に十数メートルの樹木が生い茂る雑木林がある。開校十周年記念にPTAや学区の方々の協力で造林された「大門っ子の森」である。今では多種の野鳥が飛び交うまでの立派な森に生長し、大門っ子にとって、四季折々の動植物の営みが観察できる素晴らしい学習の場となっている。

緑化活動を中心とした環境教育は、市小中学校学習環境緑化推進委員会が推進役となって、各校で鋭意進められてきた。昭和三十六年以降、小学校十六校、中学校十二校が全日本学校環境コンクール特選の荣誉に輝いている。



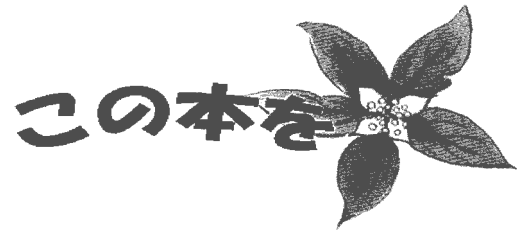
OECD（経済開発協力機構）による学習到達に関する国際調査結果が発表され、子供たちの「学力低下」が話題となっている。しかし、わたしたちは子供の実態に基づいたきめの細かい指導をこれからも継続し、自信を持って岡崎の子供たちを育てていきたい。

写真を各学校から取り寄せ、月報「一年のあゆみ」のページが完成する。しかし、どの写真を紙面に飾るのかが悩む。全国大会、東海大会と、この一年の岡崎の子供たちの活躍ぶりに、今さらながら目を見張る。平成十六年度も、素晴らしい一年であった。

シオ スア

「明日から、この学校に来られないのか」卒業式の日、不登校気味のA男がつぶやいた。学校に対する愛着の思いを初めて表した。担任としてA男に、「がんばれ」と、一言激励した。強く生きてほしい、大きく羽ばたいてほしいという願いを込めて。

酢飯はそりや蛤はまぐりの吸い物を作り、菱餅ひしもちを飾って桃の節句を祝う。足助町の風物詩『中馬のおひなさん』では、江戸時代から現代までの様々な雛人形ひなが飾られ、華やかな雰囲気ひなに包まれているという。人形と共に、親から子、孫へと大きな愛が受け継がれている。



- * 無知は人生に壁をつくる 田舞徳太郎 致知出版 ￥1800
- * 伝言 永六輔 岩波書店 ￥700
- * 武家用心集 乙川優三郎 集英社 ￥1500
- * 話材 SMBCコンサルティング編 徳間書店 ￥1000

- * 代筆屋 辻仁成 海竜社 ￥1300

ここには、10のハートフルストーリーがある。心を動かされた手紙に心が動く。世界でたった一人しか存在しない自分のために向けられたメッセージが、手紙というツールを通して、情へと昇華されている。携帯電話やメールの世界とは異なる次元に引き込まれる。「いい小説は人生観を変える。いい手紙は人生を変える」と記された帯の言葉が言い得て妙。

手紙の力に心が熱くなり、無性に手紙が書きたくなる読後が待っている。